

新任教授紹介

安全だけでなく、安心も届けられるドクターへリの救急体制構築へ

救急航空医療学講座 教授

竹葉 淳

ドクターへリが始まって3年経ち、前任者の佐藤先生から救急航空医療学講座を引き継ぎました。これまでの流れを引き継ぎつつ、院内外での協力体制づくりに強化・尽力していきます。救急体制は各地域の消防機関、地域の病院の先生方の協力なしでは成り立ちません。これまでも協力体制を培うために様々な取組を続けてきましたが、引き続き消防・病院の方たちと症例検討会を積極的に行っていきたいと考えています。実際にドクターへリで搬送した症例を用い、その時の関係者とともに救急対応時の判断や診療方法をお互いにフィードバックします。症例検討会を通じて顔が見える関係が、情報のやり取りや搬送時の協力体制にも生かされるはずです。3年間の運営で約1000件のデータが蓄積され、地域ごとの課題や症例の偏りも見えました。今後の愛媛県全体の救急医療政策の充実に役立てていただけるように、愛媛県立中央病院のスタッフと協働してデータ解析を行っていきます。

また、地域の救急では、整形外科医が最前線に立つ機会が多くあります。整形外科教室のご協力のもと、若手整形外科医が救急科をローテーションする仕組みを開始し、救急体制の一端を担う若手育成にも取り組んでいます。



PROFILE

たけばじゅん◎1996年愛媛大学医学部卒業。2008年より当院にて勤務。整形外科外傷・救急医学が専門。日本整形外科学会専門医、日本救急医学会専門医、統括DMAT隊員、愛媛県災害医療コーディネーター取得。2019年8月より現職。旅行で行きたい場所はサハラ砂漠。